

いたわり



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

【発行人】鈴木一良 【編集・発行所】（一社）茨城県福祉サービス振興会
〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階
TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799



笑顔をもたらず、役立つ福祉ロボ

「介護される人にも、介護する人にも助っ人」

福祉用具プランナー 管理指導者
株式会社ロングライフ 営業部長 江幡 卓司

ロボットと聞くと、人型ロボットのイメージが強い方もいるかもしれませんが、家庭用の掃除用ロボットや、製造業のアーム型ロボットなどを想像していただくのわりやすいと思います。ロボットとは、情報を感じ取るセンサーや人工知能、それに自動的に駆動する装置など、さまざまな機能全般を有する機械のことを意味します。これらの機能を用いて介護技術を支援するとき、その機械を「介護ロボット」と呼びます。

〈移乗介助型ロボット〉

・装着型

介助者が自身の力を増幅させるために、自ら着脱して利用するタイプの介護ロボットです。

テレビCMなどでご覧になったこともあるかもしれません。装着することによってベッドや車いす、便座などの間を移乗させる際に、腰などにかかる負担を軽減することができます。浴



(装着型)

室などの水場でも使える空気圧式と、装着者に合わせて自動的に補助してくれるモーター式があります。

・非装着型

主にベッドと車いすの間の移乗に用いられる介護ロボットです。

「抱え込み式」の介護ロボットは、寝たきり状態の人には使用できませんが、服の着脱ができるためトイレへの移乗にも使えます。

ベッドに敷いたシートごと持ち上げる「シート持ち上げ式」は、服の着脱はできないものの、要介護者の状態に関わらず誰にでも簡単に使用できます。

〈排泄支援ロボット〉

排泄のタイミングを予測して誘導する「排泄予測」機能があり、トイレ誘導したにも関わらず排泄されず空振りとなり、介護労力が増大しているケースなどで、予測することで、排泄タイミングを計り、互いの負担を軽減できます。



(非装着型)

DFree HomeCareができること

- 排尿の见えない不安を见える安心へ -



- 1 膀胱の状態をアプリで表示
- 2 トイレのタイミングをお知らせ
- 3 外出時にも装着可能
- 4 排泄の記録を残せる (排泄支援ロボット・センサー)



(自動ラップ式)



(排泄支援ロボット水洗式)

そのほかに排泄物処理型としての次世代ポータブルトイレには水洗式と自動ラップ式があり、どちらも自力でトイレに行くことが難しい利用者を対象としています。自動ラップ式はポータブルトイレでの排泄後に自動でラップに梱包し、後処理の負担を軽減します。水洗式は部屋にトイレを設置し、簡易工事により水洗トイレと同様な排泄処理を行います。

〈見守りロボット〉

在宅で使用するための見守りセンサーです。複数の部屋を同時に見守ったり、浴室や暗所でも使用することができます。



(見守りセンサー・カメラ)

〈歩行支援型ロボット〉

歩行器に回転抑制装置や傾斜角度を感知することでキャストの回転数を制御し、利用者の歩行習性や走行環境に合わせてくれます。生活環境に傾斜



細かな設定

各4段階で組み合わせは **64通り**

アシスト	弱	強
ブレーキ	弱	強
速度	遅	速

●アシスト
○ブレーキ
○速度
設定

電源

ボタン操作で簡単設定

(歩行支援型ロボット)

多い、歩行バランスが悪く転倒の危険性がある方を対象としています。また商品により走行距離をお知らせしてくれます。

その他、入浴支援、機能訓練支援、服薬支援、認知症セラピー支援、食事支援など厚生労働省、通商産業省の支援を受け、様々な介護ロボットの開発が進み、介護現場に普及されています。介護ロボットを活用する事で、介護を受けるかた、介護するかたの身体的負担を軽減することや、人対人だから嫌な思いをしたり、利用者の尊厳に関わる「恥ずかしい」「申し訳ない」などの心理的な負担の軽減も期待できます。

介護保険制度では、ここまで挙げた介護ロボットの一部のみ貸与や購入の給付に該当しています。介護ロボットにおいて操作が難しい、価格が高いなどまだまだ課題が多いところですが、今後の需要が高まる事で、より手取りやすく、使いやすくなっていくと思われます。

まずはニーズに合った介護ロボットを使用してはいるかがでしょうか。

問い合わせ

福祉サービス振興会
電話 029-1244-4425

来るべき21・5世紀に向けて

腰痛予防は職員自身の人生のため・入居者様の自立生活へ繋げるため

特別養護老人ホーム松寿園 ホーム長 小原 勝志

私が子供の頃、21世紀には宇宙旅行やロボットの活躍、科学や医療のめまぐるしい発展等々、素晴らしい未来が待っているものと思っていました。が、「あっ」という間に21世紀も20年が過ぎ、現実はというと皆さんよくご存じの通りです。

このような中で介護の世界は、未だに人の力に多くを頼る中、人員の不足と高齢化が進み当園も深刻な状態にあります。期待してきたロボットにしてみても発展は続いてはいませんが人間と全て同じ事ができるものはありません。

ただ、ここで悲観してばかりはいられません。まずは、正しい知識と技術を持つことと、今ある福祉機器類の活用をしながら現状を打開して行かなければいけない。そう考え当園での腰痛予防モデル施設としての活動が始まりました。ただ、何事もそうですが新しいことを始めるのは

とても大変なことで悪戦苦闘の日々が続く中、これからどうしたものかと思案していた時に、体格の良い方がご入居されたところ、必要に迫られたとはいえリフトの活用が徐々に浸透してきたのです。すると、不思議なもので他の福祉用具の活用も他のユニットでも見られるようになってきたのです。

本格的な活動には、まだまだ道半ばにはあるものの今年度は、法人内の他事業所への腰痛予防の指導、研修を行うこととなりました。確かに腰痛は、本人にとって身体の痛みと合わせて人生にも大きく影響しますが、人員不足と高齢化が進むなか、施設の運営に関しても同様です。今後

も安心・安全に仕事ができ、腰痛予防を通して入居者様の潜在能力を引き出すためにも「腰痛予防は職員自身の人生のため・入居者様の自立生活へ繋げるため」であることを伝え

ながら活動して行こうと考えています。

さて、日本には、いま超高齢化の激しい波が打ち寄せています。確かに様々な技術の開発や認知症への研究は進んでいます。ただ、それだけでは、この波を防ぐことは難しく、これから先は、若い世代にとっても様々な形でこの問題に対応しなくてはいけないことになると考えます。

このような中、「今が良ければ」ということではなく「これからが良くないと」に考えを切り替えることが大切であると思います。また、我々が行っている取り組みも施設間のみならず多くの方に伝え、これからのついて考えることで、この激しい波を防ぐのでは無く、受け止めることができるのではないのでしょうか。そして、来るべき21・5世紀が明るい未来となっているよう前へと進んで行くことではありませんか。

腰痛予防モデル施設研修のご案内

腰痛による離職・休職による介護現場の人員不足を防ぐために、茨城県福祉サービス振興会では県内の介護施設6箇所を「腰痛予防モデル施設」として指定をし、外部の介護事業所へ腰痛予防の知識・技術をお伝えしています。腰痛予防を防ぐには管理者をはじめとする組織的な腰痛予防の取組みが必要不可欠です。「超高齢化社会」といわれる2025年問題に備えるためにもぜひ研修のご受講をおすすめいたします。

受講料 無料
開催形式

施設訪問形式またはZOOMによるオンライン形式

腰痛予防モデル施設

- ① 特別養護老人ホームうみべの家 (大洗町)
- ② 特別養護老人ホームこほく (土浦市)
- ③ 青嵐荘特別養護老人ホーム (結城市)
- ④ 特別養護老人ホームサン豊浦 (日立市)
- ⑤ 特別養護老人ホーム松寿園 (鹿嶋市)
- ⑥ 特別養護老人ホーム桜の郷元気 (茨城町)

*日時等、詳細は「茨城県福祉サービス振興会」ホームページ内「腰痛予防モデル施設研修案内」をご覧ください。

〈福祉用具展示ホールについて〉

福祉用具展示ホールでは、車いす、杖等の福祉用具を約370点展示をしており、実際に見て触れてお試しいただけますので、ぜひご来館ください。貸出可能なものもございます。(販売は行っていません)

場 所 茨城県総合福祉会館2階

開館時間 9:00～17:00 (土日祝日除く)

電話 029-1244-4425

【新展示品のご案内】

●タピアポケット

(展示協力:㈱MJ)

*令和4年12月末日までの期間展示
実際に操作してお試しいただけますので、ぜひこの機会にご来館ください。

「離れて住む家族が心配…」

「毎日連絡はとれないけど様子が知りたい」

「顔を見ながらビデオ通話で話したい」
そんな悩みをもつ方々が、タピアを通して生活が楽しく・便利になり・安心して過ごせるようになる。タピアは、そんなお手伝いができる「コミュニケーションロボット」です。(主な特長は次の1～4)

〈特長1〉

「おはよう」「こんにちは」など、話しかけると答えてくれます(約30,000単語登録)。クイズやなぞなぞで遊ぶこともできます。

また、「音量を上げて、下げて」「電話をかけて」など伝えると、自動で設定ができます。



(タピアポケット)

〈特長2〉

離れている家族が
お手持ちのスマホで、タピアの画面から居室内の様子を随時確認することができます。(横に360度角度調整可)



(見守り中)

〈特長3〉

ワンタッチで相手へビデオ通話をかけることができます。また、寝ている状態でも15秒の着信後、受話のボタンを押さなくても自動で通話を開始することができます。



(タピアとの会話)

〈特長4〉

起床時間、お薬の時間など、予定時間になると音声でお知らせしてくれます。

【レンタル価格】

月額6,028円(税込)

ベーシックプラン

*インターネット環境がない場合、SIMプラン(月額1,881円(税込))で、ご利用可能です。

令和4年度福祉用具専門 相談員指定講習会について

「介護保険法」においての指定福祉用具貸与、または販売する事業所に従事する「福祉用具専門相談員」の養成を目的に開催します。福祉の業務に携わっている方、福祉用具に関心ある方等、どなたでも受講することができます。

開催日 令和4年11月10日、13日、12月9日～11日(試験日12月17日)

*詳細は当会ホームページ、またはお問い合わせください。
電話 029-1244-4425

〈介護講座のご案内〉

ご自宅や事業所で介護を担う方のために介護講座を開催しています!皆様のスキルアップとなる内容ですのでぜひご受講をお勧めいたします。詳しくは当会ホームページの「介護講座案内」をご覧ください。

申込方法
「茨城県福祉サービス振興会」ホームページ内「介護講座」内の申込フォームから申込
受講料 1講座につき3,500円

●オンライン (ZOOM) 形式 (いずれも13:30～16:30、3時間)

1	「職場での人間関係作りのためのコミュニケーション技法」 人間関係を築くためのコミュニケーションを基本から学んでみましょう。	令和4年 11月14日(月)
2	「摂食嚥下の基礎知識と対応」 病気や高齢になっても食べる楽しみを持ち続けられるよう、嚥下摂食の知識と共に、一人の人として関わることにしても学びます。	令和4年 12月12日(月)
3	「認知症の方とのコミュニケーション」 認知症ケアのプロが、長年の経験に基づいた認知症ケアの知識と技術をお伝えします。	令和4年 12月19日(月)
4	「自分も相手も良くなるコミュニケーション(アサーティブコミュニケーション)」 自己尊重のコミュニケーションについて、正しい活用方法を学びます。	令和5年 1月11日(水)
5	「こころの病の理解とケア(認知症を除く)」 こころの病を抱えた方の概念や症状、当事者に寄り添うケアを学びます。	令和5年 1月20日(金)
6	「介護現場における医療的ケア(医療行為でないケアの対処方法)」 介護職が行える医療行為について、正しい知識と技術をお伝えします。	令和5年 2月10日(金)

●動画視聴形式 (いずれも約3時間)

7	「口腔リハビリテーションと口腔ケア ～いつまでも元気で生き生きと暮らすために～」 要介護状態を防ぐために、口腔ケアの大切さやケアの方法について学びます。	令和4年 11月17日(木)～ 11月24日(木)
8	「リハビリテーションマインドを介護現場で生かすには」 「機能訓練」だけでなく、生活や介助の関わり方もそのひとつとされる「リハビリテーション」について、その関わり方を学びます。	令和5年 1月12日(木)～ 1月19日(木)